



地元の中学校から 子どもを奪う県立中

土佐清水市や宿毛市から 65名もの中学生が

●県立中村中学校・高等学校へ業務概要の調査に入りました。

義務教育段階なのに県立中村中学校は校区を取っ払った結果、四万十市以外の周辺市町村から65名が入学し四万十市からは144名が入学している。周辺では黒潮町17名、宿毛市33名、土佐清水市9名…などです。



土佐清水市では ●このうち土佐清水市では、5校が1校に!

2013年度に下ノ加江中・足摺岬中・下川口中・三崎中・清水中の5校が1校に統合されている。児童・生徒数が減少するなか、地元中学校へ入学し郷土愛を育み人口流出に歯止めを掛けたい自治体住民の願いや努力に、後足で砂をかけていたのが、義務教育段階で校区を廃止し広域から生徒を集める制度にした県立中学校という図が見えてくる。

●長距離、長時間通学、下宿などを中学生に余儀なくさせる制度は見直し、地元中学校でみんなと学び進路もかなう学校・教育制度へと転換させるべきであろう。県教委に、県立中学校の在り方を検討するよう求めました。

(左の写真は、四万十市立中村南小学校です。丁度211名の全校生による定例の音楽集会をしていました。その歌声は少年少女合唱団のように素晴らしいものでした)



オンラインにゃんでも通信

たくさん種類の種の中、マリーゴールド、ガザニア、セキチクの三種類の美しい花々、合わせて七〇ポットをいただき持ち帰りました。町内の公園や久万川堤防の花壇で日ごろから美しい花を育てていらっしゃる皆さんが受け取って下さり、私も皆も朝から幸せな気持ちになりました。花っていいですね。

●講演「高齢者を取り巻く情勢とこれからの高齢者運動」

講師：篠崎次男(日本高齢期運動)

連絡会顧問)

・5月24日(水)

午後1時30分〜4時

・男女参画センターソール

・資料代 300円

●マリーゴールドなど70ポット! 連休中に中央公園で催された春花まつりを彩った花々が、市内の公園愛護団体に配布されます。今年、5月7日の朝早く高知港で配布されました。

